

第2回 岡谷市総合教育会議

日 時：平成 27 年 8 月 26 日（水）
午後 3 時 30 分～午後 4 時 30 分
場所：市役所 6 階 6 0 5 会議室

○ 開会

（小口企画政策部長）

ただ今より、第2回岡谷市総合教育会議を開催いたします。最初に今井市長よりあいさつをいただきます。

○ 市長あいさつ

（市長）

皆さん、こんにちは。本日は第2回の岡谷市総合教育会議ということでお足元の悪い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

教育委員の皆様には、日々、岡谷市の教育の向上、発展にご尽力いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

岡谷市の教育大綱についてでございますけれども、第1回の総合会議を受けまして、年度中の策定をめざす内容と調整を進めてまいりまして、素案ということで一定の形になってまいりましたので、それらの内容につきまして、ご説明申し上げまして、ご協議をお願いするものでございます。

教育大綱につきましては、子どもから大人まで、幅広い視点のもとで、これからの教育がめざすまちを岡谷市として描く必要があると考えておりまして、皆さんからご意見等をいただく中で、より良いものにしてまいりたいと考えておりますので、本日はよろしく願いいたします。

○ 教育委員長あいさつ

（小口企画政策部長）

ありがとうございました。続きまして、草間教育委員長よりあいさつをいただきます。

（草間教育委員長）

皆さん、こんにちは。教育委員会を代表いたしまして、私よりひとことご挨拶を申し上げます。

市長さんをはじめ、市の関係者の皆様方には、日頃より、岡谷市の教育行政の発展のため、多大なるご理解とご協力をいただきまして、心より感謝を申し上げます。

昨今、教育を取り巻く課題は複雑化、多様化しており、学校教育をはじめ、社会教育や家庭教育、あるいは芸術、文化、スポーツの振興など、教育行政が担う範囲は大変に幅広く、また、対象となる方々も幼児から大人まで、大変幅広い対象となっています。こうした中、策定を進めております教育大綱は、市民の皆様に対しまして、様々な環境を踏まえながら、岡谷市の今後の教育がめざす姿を明らかにするものとなり、市と教育委員会が力を合わせて、より良い大綱を策定していきたいと考えております。また、この総合教育会議がより活性化し、市と教育委員会もお互いに活性化することで、岡谷市の教育行政は更に前に進むことができるものと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○ 議題

1. 岡谷市教育大綱（素案）について

（小口企画政策部長）

続きまして、本日の議題に入らせていただきます。

議事進行につきましては、会議運営規則に基づきまして中田副市長にお願いいたします。

（中田副市長）

皆さん、こんにちは。副市長の中田でございます。それでは、次第に沿って本日の議題に入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

4月に開催いたしました第1回の会議では、教育大綱の策定に向けた基本方針等について、ご協議いただきました。本日はそれらを踏まえて調整いたしました大綱の素案について、まずは、事務局の方からご説明をさせていただきたいと思っております。それでは、資料の説明をお願いします。

（吉澤教育部長）

教育部長の吉澤でございます。最初に教育大綱の前提を確認させていただきたいと思っております。まず、教育大綱は教育行政に関する既存の計画を基本におきまして、市長が策定をいたします。第4次岡谷市総合計画後期基本計画におきます、基本目標「生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち」を受け、目指す教育の姿を表現することといたします。教育大綱の定義といたしまして、国の通知では、詳細な施策について策定することは求められてはおりません。それを受けまして、岡谷市では理念型の大綱といたしたいと思っております。なお、対象期間は平成27年度から30年度までの4年間といたすものでございます。そして、市長と市教育委員会とが、理念や方向性を共有して策定した大綱の下に、それぞれの所管する事務を執行するというものになります。

第1回の総合教育会議のまとめで、夏には大綱の素案を示すということとしておりましたので、教育委員さんのご意見もお聞きしながら、調整を図っていただき、素案になったも

のでございます。それでは担当から説明いたします。

(両角教育総務主幹)

(資料 1, 2 に基づき説明)

(中田副市長)

ありがとうございました。何か補足はありますか。

(なし)

(中田副市長)

資料に沿って一通りの説明をいただきました。今、話がありましたとおり、教育大綱の骨格となる部分につきましては、素案の 5 ページから 7 ページという部分でございます。これらを踏まえて、ご質問やご意見をお出しいただきたいと思いますと思いますが、冒頭お話がありましたとおり、この大綱は市長が定めるということですので、まずは市長からということにさせていただきますと思います。

(市長)

今、素案という形でお示しをさせていただきました。逆に言うと、いかに教育というのが幅広い分野、それから全ての人たちに影響する分野であるということを再認識させられたところです。そうした中で、大綱を市長が作成して示せというのは、大変な作業でありますし、プレッシャーでもあると感じたところです。ただ、すべてを網羅するわけにいかないものですから、こういった理念的な大綱ということで素案としてまとめさせていただきました。いろいろ練らせていただきまして、私自身や教育部、市についてもかなり思いはこめて、まとめつつあるのかなと思っております。まだこれは完成ではなく、意見をもらったりご協議をいただく中でより良い形にしたいと思っております。そうは言いましても少しずつ前進することができ、形を示すことができたのかなと思っております。個々のことについてはご意見をいただく中で、形をつくってまいりたいとそんなふうに思っております。いずれにいたしましても、教育と市長部局とは絡んではいけないような感覚でしたが、制度の改革によりまして、私たちがこういう会議をしたり、イメージ図のように行政が果たす役割をどういう形でまとめようかという思いがあったのですが、一番下のお皿の部分というのが、私たちの教育に関する取り組みの姿勢かなと思っておりますので、そんな部分を汲み取っていただければと思います。よろしくお願いします。

(中田副市長)

今、市長からも話がありましたが、教育委員さんからただいまの素案について、ご質問、

ご意見等ありましたらお願いいたします。

(小野委員)

先ほど市長さんがおっしゃっていた通りだと思うのですが、教育委員会制度の改革があつて、総合教育会議ができて、それが故に教育大綱ができつつあるのは本当に素晴らしいことだと思います。先ほど触れられたように、教育について、行政はどのように考えているのかというのは、時たま教育委員会でも懇談会等でお示しいただいたり、我々もお話をさせていただく中で、共通の目的として岡谷市の大綱が策定されるということで、より近くなったと感じております。信頼をよりする中で、一緒に仕事をして、実際に教育行政がより進みやすくなるということで、教育大綱そのものができたことが私は一番うれしいと思っております。教育委員会としての立場というのもありますけれども、少なくとも目的が共通化できたということで、方法の違いなどをより素直に話をするができると思いますので、これがきちんとまとまって有効に活用できたら一番良いかなと思います。

(市長)

いろんな見方があつて、行政があまり手を付けてはいけないなどいろいろありますが、よりよい関係をもつて岡谷の教育のために共に尽くしていくという理念かなと思っておりますので、共通目的が持てたことはよかったと思っています。お願いします。

(草間教育委員長)

岡谷市の今後の教育の目指す姿を大綱の中に十分出していただいておりますし、市民の方にも理解してもらえる内容になっていると思います。先ほど市長さんが教育と行政について言われましたが、私たちとしてもまちづくりと行政の一体化がより進むのではないかと考えております。今まで、行政と教育委員会は距離があつたのですけれども、小野さんの言われるような新しい委員会制度によって、よりスピーディに力強い支援が全ての市民にいきわたるような大綱になっていると思います。あと問題は、行政のこの力というものをどのように市民に理解してもらうかということだと思います。

(中田副市長)

ありがとうございます。今日は素案ということで出させていただいて、これに対してのご質問、ご意見というところまでとさせていただき、次回までに精査をして、改めて次回ご議論をいただくということになっておりますので、今日は言いつ放しでも結構です。ご意見をいただければと思います。

(倉田委員)

全体的なことは、小野さん、草間さんが言ったようなことを私も感じています。

細かいことになりますけれども、例えば6ページ。学校教育の重点の①「地域に根ざした特色ある学校づくりの推進」のところに岡谷版コミュニティスクールという言葉があります。これはコメ印がついておりまして、9ページの下にコミュニティスクールという説明があるのでありますが、先ほどから岡谷版、信州版という言葉がありましたので、この説明だけでは、岡谷版というのが一般の方には読んだ時に、わかりにくいのではないかと思います。そういうところに工夫があるとよいかなと思います。

(市長)

このあたりについては教育長先生と模索しながら進めたいと思います。確かに岡谷版の解説をきちんと載せられるようにしないといけないと思います。ご指摘いただいたところについて修正し、内容を厚くしたいと思います。

(太田委員)

今までの教育大綱ができる以前は、総合計画などの中で、学校教育の具体的な位置づけが弱かったところがありました。それを考えますと、かなり具体的に岡谷市の教育の中での学校教育の位置づけがきちんとされたということがひとつ意義のあることかなと思います。

それから、図に示されているとおり、岡谷で生きていく一人の人が自己を作っていくに当たって、学校、地域、家庭という枠を超えてしっかり連携して支えていくということ、それを全体として行政がバックアップしていく図が、これからいろんな形で岡谷の取り組みを考えていくに当たって、非常にわかりやすく、あるべき姿だなと感じます。そういうものを示せたのは非常に大きく、意義のあることかなと思います。

冒頭の課題のところにもあるように、大きな人口減少社会の中で、国を挙げて地方創生、この岡谷という地域、郷土、まちをどうするかという課題に直面している中で、私自身は、教育の持つ力は意義のあることだと思います。そういうことを考えるに当たって、産業、雇用を中心として人の流入をいかにつくるかという議論がなされることが多いのですが、教育は水や空気のようにあって当たり前と感じられているのですが、実は地域によって、学校によって、家庭によって、いろいろな場所で中身の全く違う、あまり強くは感じないのですが非常に大きな、そこに暮らす人、それからその人が集まる社会に大きな影響をあたえる教育について、こういう時期に改めて総合教育会議ということ、そこから生まれる教育大綱ということで、はっきりとした方向性を定める意義は非常に大きいと思います。これから具体的にひとつひとつ効果のある、実現性のあるものにつなげていくことが、この地域での魅力ある教育を作り出し、その魅力ある教育というものが他の地域と比べたときの差別化、大きな違った魅力として発信していけることが、もしできたら大きな強みとなりうることだと思いますので、教育大綱、総合教育会議という形ができた意義というのが、そういうところにしっかりと結びつけていける可能性があるのではないかな。そんなことを踏まえたうえで、一教育委員として関わっていければと思います。

(市長)

ぜひお願いしたいと思います。教育にはいろんな形があって、普遍的なものですけれど、特色を出せる部分もあって、その特色を出せる部分が岡谷の特色になっていくという捉え方かなと思います。いろんな知恵を出し合い、工夫をしながら良い特色を出していくことが基本の理念だと思っております。積み重ねにつきましては皆さんと一緒にやりたいと思いますので、よろしくお願いします。

(橋爪委員)

思いというか、今感じていることを述べさせていただきたいと思います。大綱を検討する作業に当たらせていただきながら、身の引き締まる思いをしているところです。先ほど、太田委員さんおっしゃられたように、5ページのこの図はとても分かりやすく、誰が見てもこういうことで進んでいくのだなと理解しやすいものとして、示すことができていると思います。その中でも特に私が力を入れていきたい、このところは私の中で課題と思っていたのは、「家庭の力」の部分なのですが、4文字で表すのは簡単なことなのですが、その中身はというと非常に難しい、複雑な取り組みをしていかなければいけないかなというふうに思っております。こうして図にしてみるとやはりここもちゃんと取り組まなければいけないという意識を改めてもつことができました。私の中で、あんなことをしてみたらどうかというイメージがわき始めているところです。なので、この機会に決意を新たに具体的な方向を検討しながら、取り組んでいきたいと感じました。

(市長)

家庭の力というのは大きな課題、テーマ、みんなで取り組まなければいけないことかなと思っております。家庭の力は絶対必要ですし、これが一番の基本だと思います。

(草間教育委員長)

小中学校の教科書ではユニバーサルデザインにすごく力を入れています。市の方もそれには注意されていると思うのですが、文節が、どなたが読んでも読みやすいような文節に教職員はすごく注意されているので、これからホームページなり外部へ出る資料だと思いますので、そのあたり、文章をもう一度考えていただいて、だれが見ても読みやすい文章、点についても注意を払っていただくような心遣いをお願いしたいと思います。

(橋爪委員)

私も今お聞きして同じように感じました。岡谷市は特別支援教育に何年も力を入れて取り組んでいるので、そうした姿勢もしっかり示して、その表れとして委員長さんがおっしゃったような配慮を大綱にも盛りこんでほしい。色使い、字のフォントなどにも配慮しながら、

できる範囲でかまわないと思いますので、他市にない配慮がそこに見られるとそこも岡谷市の特色になるかなと思います。

(草間教育委員長)

一人でも多くの方の目に触れて、内容を理解していただくために、ぜひその点をお願いしたいと思います。

(市長)

ありがとうございます。そんな形で取り組みたいと思いますのでよろしくお願いします。

(中田副市長)

今日はお示しをして、それに対して少しご意見をお伺いするということで、次回これを正案としていくということで、そのような扱いをさせていただきたいと思います。

(市長)

もう一度読み込んでいただいて、次回にもご意見をいただきたいと思います。そうは言っても4年間で決まってしまうので。

(中田副市長)

他にはよろしいでしょうか。それでは、今日お示しいたしましたこの岡谷市教育大綱の基本的な構成等につきましては、本日の素案の形でまとめていくというところだけのご確認をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。皆様にはこの素案をお持ち帰りいただいて、それぞれのお立場でご検討を深めていただき、事務局との調整もその間に行っていただいてよろしいかと思います。次回の総合教育会議におきまして改めてこの内容等を精査し、調整、協議をして正案としていきたいと思いますが、皆さん、よろしいでしょうか。それでは今申し上げましたような形で次回進めさせていただきたいと思います。

2. その他

(中田副市長)

この際、委員さんからその他ございますか。

(なし)

(中田副市長)

特にないようでありますので、本日予定した議題は以上となります。最後に岩本教育長より本日のまとめということで、お願いしたいと思います。

(岩本教育長)

今日は素案ということでお示しをいただいたわけでございますけれども、いろいろな視点から意見交換ができたこと、本当にうれしく思っております。市長さんの思いもしっかり確認することができ、私どもも意を強くしているところでございます。

教育理念をはじめ、中身につきましては教育委員会が日ごろから大事にしたいと考えている事柄、具体的な方向性がしっかりと反映されております。同時に、市長さんのこれからの教育に寄せる思いや期待などが込められた内容になっていると感じます。魅力があって意欲の湧く素案を提案していただいていることに心より感謝申し上げます。

さて、現下の教育に関しましては、岡谷小の統合問題をはじめ、いくつかの課題を抱えているわけでございますけれども、お示しいただいた教育理念はそれらの課題解決の推進に向けて大切にすべき願い、思いがこめられていまして、今後の方向性をしっかりと見定めながら、夢と希望を持って着実に歩みを進めてまいりたいと思っております。

本日の素案を基にしながら、また、市の皆さんとも調整をさせていただきながら、よりよい大綱にしていきたいなと思っております。

さらに、教育大綱が正案となりましたら、しっかりとした魂と実効性を注入することが大切ではないかと考えております。まずは教育委員会自体が理念に掲げております創造性や自立、共生の姿を具体的に市民の皆さん、子どもたちにお示しする中で、今を生きる子どもの健やかな成長とどの人も輝くひとづくりにいっそう邁進していかなければいけないと思います。

市長さんにおかれましては、ご支援、ご教示をお願いしたいと思います。御礼の言葉で代えさせていただきたいと思います。

(中田副市長)

ありがとうございました。以上で本日、予定した議題は以上で終了となります。進行を事務局にお返しいたします。

○ 閉会

(企画政策部長)

貴重な意見交換、大変ありがとうございました。なお、次回の会議につきましては、秋ごろを目安に教育大綱の案についてご協議をお願いしたいと思います。会議の日程につきましては、改めて調整してご連絡させていただきます。

それでは、以上をもちまして、第2回岡谷市総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。